地域を結ぶ 病院だより

かけはし通信

第14号
2012.10

新川医療圏公的３病院災害医療相互応援協定締結式（H24.8.30）

目次

P2　新任医師のご紹介、新たに２名の認定看護師が誕生
P4　新川医療圏公的３病院災害医療相互応援協定を締結
　　黒部市民病院増改築工事が着工
　　平成23年度黒部市病院事業決算報告
　　電子カルテシステムが更新されます
P7　臨床研修センターより、【Key Word】節電対策
P8　病院の理念、患者さまの権利と責務、受診のご案内

黒部市民病院

Staff

平成24年７月～10月にかけて、新たに７名の先生が着任されました。
この７名の先生をご紹介いたします。

新任医師のご紹介

脳神経外科

脳神経外科部長
栗本（くりもと）　昌紀（まさのり）
【専門】
脳神経外科一般

泌尿器科

泌尿器科医員
飯田（いいだ）　裕朗（ひろあき）
【専門】
泌尿器科一般

外　科

外科医員
名倉（なくら）　慎人（まこと）
【専門】
外科一般

臨床研修室

臨床研修医１年生
坂下（さかした）　泰浩（やすひろ）

臨床研修医１年生
久野（きゅうの）　貴広（たかひろ）

臨床研修医１年生
下出（しもで）　哲弘（てつひろ）

臨床研修医１年生
森田（もりた）　恵子（けいこ）

新たに２名の認定看護師が誕生

平成24年７月に、新たに２名の認定看護師が誕生しました。

これで当院は「がん化学療法」「感染管理」「皮膚・排泄ケア」を含め認定看護師が５名となり、患者さんに身近でより一層専門性の高い看護を実践して参ります。

緩和ケア認定看護師

かんわ支援室　師長
高山由紀子

平成21年に緩和ケアチーム専従看護師としてかんわ支援室に配属となりましたが、自分自身の緩和ケアに関する知識、技術不足を強く感じていました。昨年、緩和ケア認定看護師教育課程を修了し、今年度より緩和ケアチーム専従の緩和ケア認定看護師としての活動が開始となります。

がんと診断された患者さんとそのご家族の身体的、精神的な苦痛を少しでも和らげることができるよう、また、患者さんが大事にされている価値観を尊重した生活支援者としての活動を主治医、担当看護師と連携を図りながら行っていきたいと考えています。

透析看護認定看護師

腎センター　主任看護師
草切　　幸

私は今年の７月に透析看護認定看護師の資格を取得し、現在、腎センターに勤務しています。週２～３回顔を合わせている患者様、その御家族とは、日々腎不全ときちんと向き合い、セルフマネジメントができるようにコミュニケーションをとりながら看護を進めています。今後は、慢性腎臓病（CKD）の進行を防ぐよう、CKDステージ分類ごとの指導に力を入れていきたいと考えております。

これからも、患者様からの学びを念頭におき、質の高い透析看護の実践、指導、相談に応えられるよう活動していきたいと思っています。

認定看護師とは？

日本看護協会認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践ができる者のことです。認定看護師には以下の19分野があります。

がん化学療法看護、がん性疼痛看護、感染管理、緩和ケア、救急看護、集中ケア、手術看護、小児救急看護、新生児集中ケア、摂食・嚥下障害看護、透析看護、糖尿病看護、乳がん看護、認知症看護、皮膚・排泄ケア、不妊症看護、訪問看護、がん放射線療法看護、脳卒中リハビリテーション看護

黒部市民病院
Topics

新川医療圏公的３病院 災害医療相互応援協定を締結

平成24年８月30日（木）に、黒部市民病院、あさひ総合病院、富山労災病院の３病院間にて、災害医療相互応援協定を締結しました。

これは東日本大震災の教訓を踏まえ、災害時の医療救護活動を行うために病院相互の機能分担と連携強化を図ることを目的としており、必要な事項を定めた応援協定を締結しました。

今回の協定の内容は基本的な事項ではあるものの、新川医療圏内の関係機関との連携強化に向けた第一歩であり、非常に意義のあるものと考えています。

協定の概要

(1) 被災した協定病院は、医療救護班の派遣を要請するものとし、被災した病院以外の協定病院は可能な限りこれに協力する。

(2) 被災した協定病院と連絡が取れない場合で、被災した協定病院の被害が甚大で速やかに応援が必要と判断したときは、応援の要請を待たずに自主的に医療救護班を派遣する。

(3) 医療救護班の業務は、次の医療救護活動を行う。
傷病者に対する診断、治療及び応急処置、後方医療施設への転送の要否及び転送順位の決定、転送困難な患者、避難所及び救護所等における軽易な患者に対する治療など

(4) 患者の収容及び治療依頼
協定病院が被災し、医療の提供ができないと判断した場合は、被災した協定病院以外の協定病院に患者の治療を依頼できる。

(5) 防災訓練
協定病院のいずれかから防災訓練の要請があった場合は、医療救護活動の速やかな連携を図るため防災訓練に参加する。

黒部市民病院増改築工事が着工

平成20年３月に「黒部市民病院施設整備マスタープラン」を策定して以降、黒部市民病院病院建設委員会や院内病院建設委員会等を開催して検討・協議を重ね、平成22年度に基本設計を、平成23年度に実施設計の取りまとめを経て、いよいよ平成24年９月から増改築工事が着工しました。まずは新介護老人保健施設棟と主にリハビリ部門が配置される新外来診療棟のⅠ期工事を行い、次に新外来診療棟のⅡ期工事、既存施設の改修を進め、最終的に平成29年２月28日に完成予定となっています。

増改築工事安全祈願祭

工事開始に先立ち、平成24年９月３日（月）に黒部市民病院増改築工事の建設地において安全祈願祭を執り行いました。

式典には、施主の黒部市民病院開設者の堀内黒部市長をはじめ、施主関係者と設計・施工業者関係者あわせて80名の方々に出席いただきました。

病院出入口と駐車場の変更

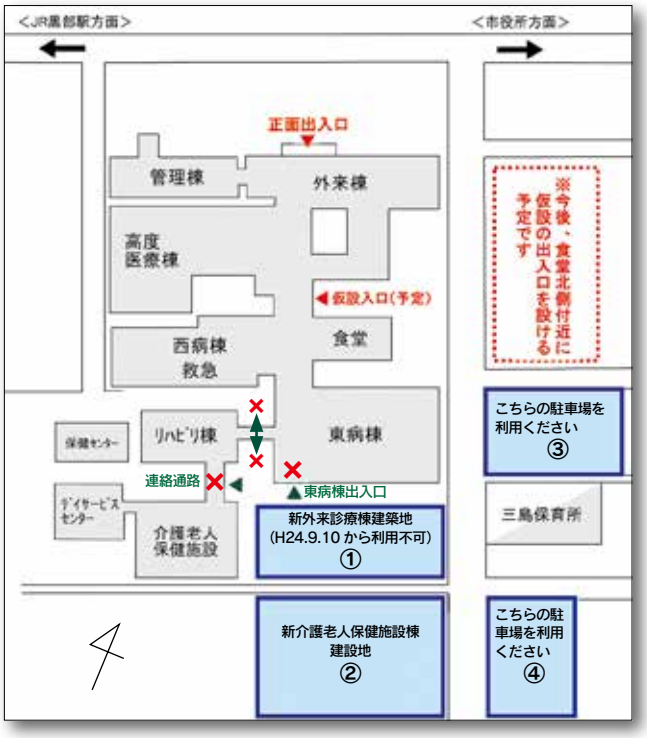
増改築工事に伴い、９月10日（月）から◆東病棟出入口、◆リハビリ棟・介護老人保健施設との連絡通路東側からの出入口、◆東病棟・リハビリ棟の間にある南北通路の利用ができなくなっています。

また、東病棟南側にある駐車場（図①、②）においても利用できなくなっています。

工事期間中は、三島保育所を挟み南北にある駐車場（図③、④）をご利用ください。

なお、これらのことから、正面出入口の開錠時間を20時30分まで延長（閉院日においても７時～20時30分開錠）しますので、ご来院の際は正面出入口をご利用ください。

平成24年11月中には、食堂北側付近に仮設の出入口を設ける予定です。



平成23年度 黒部市病院事業決算報告

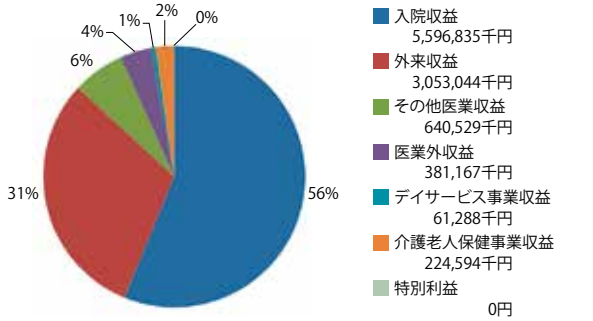
平成23年度の決算について報告いたします。

平成23年度は病院事業収益が9,957,457千円、病院事業費用が9,733,782千円で、223,675千円の黒字となりました。

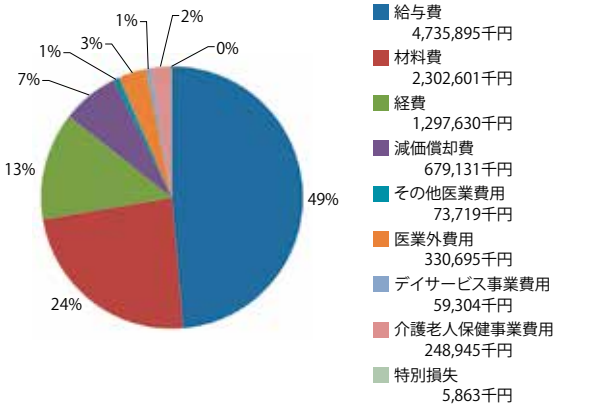
前年度に続いての黒字で、前年比は272.5%増となっています。

地域において必要な医療供給体制を確保し、良質な医療を継続して提供するためにも、引き続き安定した経営を目指して努力して参ります。

平成23年度病院事業収益　9,957,457千円



平成23年度病院事業費用　9,733,782千円



電子カルテシステムが更新されます

当院では今年度、電子カルテシステムの更新を予定しています（平成25年３月予定）。

更新にあたっては「標準化」「効率化」「情報共有」「データの利活用」をコンセプトとしており、

①カルテ記録や検査結果などの医療情報の一元化・共有化を強化し、医療の質や安全性がより向上

②投与する医薬品や注射、実施する処置や手術などをシステムで突合し、医療過誤防止が強化

③大きな見やすいモニタを採用し、患者さんに対する症状や検査の説明など、より分かりやすい診療を提供することができる

④フルオーダリング・システムを採用し、迅速で効率的な会計処理を実現

⑤データ交換規格等の標準化により、異なる医療施設やシステム間の情報共有を図ることができる

といった様々な効果が期待できます。

今回のシステム更新により、診療情報のさらなる共有を推進し、医療・介護・福祉の広範囲にわたる地域一体となった医療を実現したいと考えています。

なお、電子カルテシステムの更新後しばらくは、診察・検査・会計などについて通常よりも長くお待たせする可能性があります。皆様には、大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

PICK UP!

臨床研修センターより

米国臨床研修が始まりました

今年度も、２年目臨床研修医が４週間交替でマーサー大学医学部、中央ジョージア医療センター等の最先端の医療現場での研修を開始しました。

また、今年度はコメディカルから看護師１名、臨床工学技士１名も研修に参加します。

医　師

・牧本　和彦	9/22～10/22	形成外科、救急	・中村　翔大	11/3～12/3	家庭医学、救急
・竹村　朋子	10/6～11/5	家庭医学、救急	・大西慎太郎	11/17～12/17	整形外科、救急
・正谷　知巳	10/20～11/19	感染症、救急			

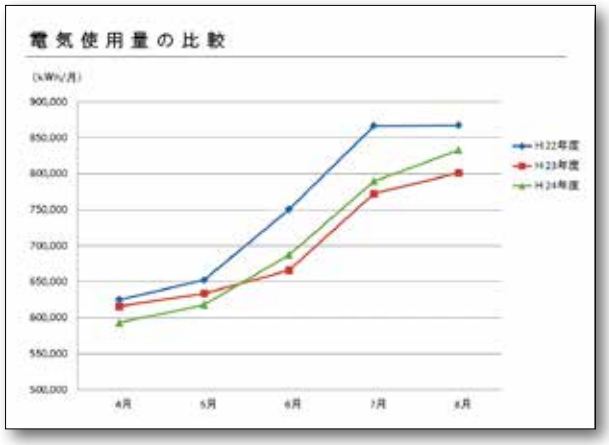
コメディカル

・藤井　淳子	9/22～10/8	看護管理 等	・笹山　真一	9/22～9/29	医療機器管理 等

Key Word

～環境活動の取組み～

節電対策



これまで黒部市民病院では、環境に配慮した事業推進の一環として様々な節電対策を行ってきました。昨年の東日本大震災以降は、より一層の節電対策を行っています。

今年度の節電目標は、「平成22年度に比べ６％の節電を目指す。」としています。

平成24年４月～８月の電気使用量については、６月上旬から好天が続いたことから例年より早く空調開始したことや、梅雨明けから暑い日が続いたことから、平成23年度と比べると32,400kWh増えています。しかし、平成22年度と比べると240,240kWhの減、6.4%の節電となっています。

これは節電にご理解ご協力いただきました患者の皆さまのおかげです。

環境への配慮に加え、全国的にも節電が叫ばれる中、当院もできる限り貢献したいと考えており、あらためまして患者の皆さまにご理解ご協力いただきますようお願い申し上げます。

病院の理念

◇病院の理念（めざすべき目標）
患医一如

◇基本方針
一．新川地域の基幹病院として地域の医療機関と連携して地域医療に貢献します。
一．救急医療・災害医療の拠点として、可能な限りすべての患者さまを受け入れます。
一．患者さまの権利を尊重し、患者本位の医療をめざします。
一．患者さまの協力を得て安全・安心な医療を推進します。
一．職員それぞれの専門性の向上に努め、患者中心のチーム医療を推進します。
一．職員が誇りをもっていきいきと働ける職場をめざします。
一．環境に配慮し、無駄を省き、健全経営に努めます。

患者さまの権利と責務

1．平等に医療を受ける権利
2．良質の医療を受ける権利
3．十分な説明を受け自己決定する権利
4．医療情報の提供を受ける権利
5．個人情報が守秘される権利
6．尊厳が守られる権利
7．診療にご協力していただく責務

受診のご案内

◆診療受付時間
平　日：午前7時30分～11時
但し、科・曜日により受付時間が異なります。詳しくは、外来診療担当医師案内をご覧ください。
休診日：土、日、祝日、年末年始など

◆救急（時間外）外来の受診
当院の救急外来は、休日や診療時間にかかわらず、終日診療をしています。受診の際は、地域救命センターの「救急外来」にお申し出ください。
受診待ちの間に症状が重くなった場合は、ご遠慮なくセンター内のナースにお申し出ください。

新川医療圏小児急患センターの受診
毎夜間：19時～22時
日曜・祝日昼間（土曜は除く）：9時～12時、14時～17時

かけはし通信　第14号
発行所　黒部市民病院　広報委員会
黒部市三日市一一〇八―一
☎（〇七六五）五四―二二一一（代）
発行日　平成二十四年十月二十二日
印　刷　菅野印刷興業株式会社

毎月１回、保険証を提示してくださるようお願いします